

# 歴史書 通信

1

2018 No. 235

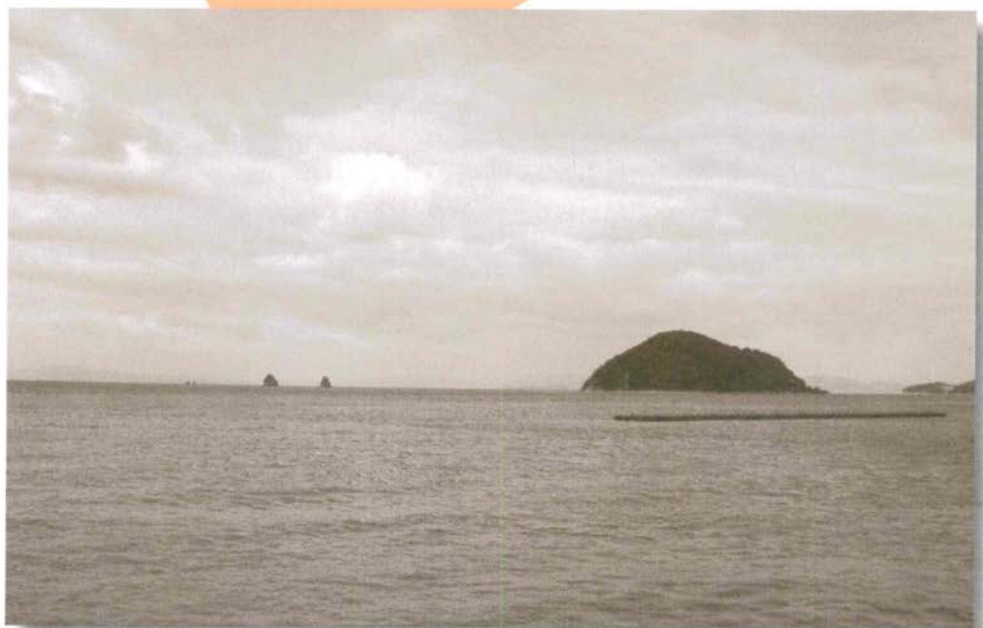
平安時代の瀬戸内海賊 —その実態と系譜— [寺内 浩]

歴史書新刊ニュース (11・12月)

歴史書以外の人文社会図書新刊案内 (11・12月)

会員社刊行の2017年度受賞図書

2017年歴史書懇話会研修旅行記



歴史書懇話会

# 平安時代の瀬戸内海賊

## —その実態と系譜—

寺内 浩

(愛媛大学法文学部教授)

平安時代の瀬戸内海賊といえば、藤原純友に率いられて大規模な反乱を起こしたことが有名だが、藤原純友の乱ほど大規模ではないものの、瀬戸内海賊は何度も蜂起し、政府を悩ませていた。以下に述べるのは、藤原純友の乱から約40年後に起きた伊予国での海賊蜂起・追討の実態と海賊首領の系譜である。

天元5年(982)2月7日、蔵人頭藤原実資は海賊蜂起のため租税の輸送が困難になっている旨を奏聞した。実資の日記『小右記』には、「最近海賊が蜂起した。沿岸諸国の租税が輸送困難になっているため、たいへん愁い苦しんでいる。(中略)海賊たちは、太鼓をうち金鼓をたたき、往き来する人々を脅かし、持ち物を奪っている。」とある。

この記事で興味深いのは、海賊が太鼓をうち金鼓をたたき、としていることである。瀬戸内海賊といえば、大小さまざまな島の間を船が進んでいる時、島影から静かに忍び寄って輸送船などを襲撃する、というイメージがあるが、実際には太鼓や金鼓をたたきという派

手なパフォーマンスをしていたのである。相手の船に太鼓や金鼓の音でまず恐怖感を与え、その後に襲うという作戦である。ただ、事前に大音響を発すると、相手の船に逃げられてしまうのではないかと、とも思われるが、海賊船の船足の方がよまさっていたのであろう。船足に自信があるからこそ、とりえた戦術といえよう。

海賊の襲撃方法はさておき、実はこの時の海賊追討は、伊予守遠古と蔵人頭藤原実資によって計画的になされたものであった。

この間の経過をみてもみると、実資の奏聞は2月7日、それを受けて公卿が海賊を追討するよう上奏したのは11日だが、同月の23日には伊予国から賊首能原兼信を討ったとの報告が実資の許に届いている。政府から海賊追討の命令が下されたのは、11日からさほど日が経たないうちであろう。ところが、その命令が届くか届かないかのうちに伊予国から海賊を討ったとの報告が出されているのである。伊予国の報告は海賊追討の命令を待っていたかのような出され方といわざるをえない。

次に、この年伊予守源遠古は任期の最終年であった。このころの受領は多くの収入が得られるポストだったので、4年の任期を終えた受領は引き続いて受領の地位を得ようとした。任期最終年はこうした受領再任を望む受領にとって、任期中の功績をアピールする年であった。そのため、中には任国の人々を使って、今の受領はよい政治を行っているので再任あるいは任期延長をしてほしい、という要求を政府に出させる受領もいた。したがって、源遠古にとって海賊追討の成功は、政府に対して絶好のアピールとなったのだが、それがうまいぐあいに任期最終年になされているのである。

さらに、伊予守源遠古と藤原実資は義理の兄弟、すなわち遠古は実資の妻の兄弟であった。実資とその妻の兄弟達とが親密な関係にあったことは、『小右記』のいくつかの記事からうかがうことができる。このような高級貴族と受領との縁戚関係は当時よくみられた。そうした場合、高級貴族と受領とはギブアンドテイクの関係にあり、人事権を握る高級貴族が縁戚者の受領をポスト面で優遇する見返りに、富裕な受領が経済的な奉仕を行っていた。ちなみに、実資が住んでいた二条第は妻の父から譲られたものである。

こうしてみると、この伊予守源遠古による海賊追討は、受領再任をねらって功績をアピールするため、遠古と実資によってあらかじめ準備されて

いたものとしか考えられない。案の定、源遠古は海賊追討の功績により伊予国受領に再任されている。ついでにいえば、この時の関白太政大臣藤原頼忠は実資の伯父である。この年、頼忠は娘の遵子の立后を密かに進めていたが、それを蔵人頭として補佐したのが実資である。また、実資は円融天皇の信頼が厚く、約3年半蔵人頭を勤め、讓位後は院別当となっている。関白や天皇も実資と遠古の計画を黙認していたのであろう。

もちろん、海賊追討自体までが虚構であったというわけではない。天元元年(978)に備前介橘時望が海賊に殺され、天元2年と寛和元年(985)には海賊の追捕がなされているので、伊予守源遠古が海賊を追討する必然性は十分にあった。今回の件は藤原実資と謀ってそれをうまく受領再任に利用したものであろう。

ところで、この時源遠古に討たれた海賊の名は能原兼信。能原という姓は他にあまりみえないが、訓みは「のはら」あるいは「よしはら」であろう。もし、前者であるとすると、想起されるのが、伊予国に移配された蝦夷である吉弥侯部勝麻呂と吉弥侯部佐奈布留の2人に野原の姓を賜ったという、『日本後紀』弘仁4年(813)2月甲辰条の記事である。能原=野原であるならば、能原兼信は伊予国に移配された蝦夷の後裔なのかもしれない。

伊予国に蝦夷が移されたのは、東北蝦夷とのいわゆる 38 年戦争の結果である。とりわけ延暦 13 年 (794) に蝦夷の本拠地である胆沢地域が制圧されて以降、蝦夷勢力を分断するため、多数の蝦夷が強制的に各地に移された。四国では伊予国の他に讃岐・土佐国に蝦夷が移配されている。なお、吉弥侯部勝麻呂と吉弥侯部佐奈布留に与えられた野原という姓は、居住地が伊予国温泉郡 (松山市の道後温泉から松山空港にかけての地域) の野原郷だったことによるものである。野原郷は、『和名類聚抄』にはみえないが、飛鳥池木簡・西隆寺木簡には、「湯評笑原五十戸」[「湯泉郡<sup>のほら</sup>篁原郷」]とみえている。

こうした移配蝦夷は、その勇敢さが買われ、軍事警察力として用いられることがあった。大同元年 (806) には近江国の蝦夷が防人に充てられている。また、貞観 11 年 (869) に新羅海賊が博多津を襲った時、「一以当千」の働きをしたので、以後は 100 人の蝦夷が交替で警備にあたることになった。蝦夷は瀬戸内海賊の討伐にも用いられた。貞観年間 (859-877) は瀬戸内海賊の活動が活発になった時期だが、海賊の跳梁に手を焼いた政府は、蝦夷を追討兵力として使用するよう瀬戸内海諸国に命じている。

一方で、移配された蝦夷は風俗や習慣が当地の民衆と全く異なる「異文化集団」であったため、移配先でさまざまな摩擦が生じた。播磨国・因幡国では犯罪を犯した蝦夷が流罪となり、上総国・下総国では蝦夷の反乱も起きている。したがって、軍事警察力として用いた蝦夷をコントロールすることは難しかったようであり、盗賊警備のために配置した蝦夷が逆に盗賊になってしまったこともあった。

能原兼信もこうした事例ではないだろうか。つまり、瀬戸内海賊の警備や追討のために動員された蝦夷が、いつのまにか海賊に姿を変えたのであろう。そういえば、藤原純友も当初は海賊追討のために伊予国に下ったのだが、やがて海賊の首領となり、大規模な反乱を起こすのである。

海賊の首領能原兼信について憶測を述べたが、東北の地で律令国家に抵抗し、伊予国に移配された蝦夷の末裔が、今度は瀬戸内海で海賊の首領となっていたとすれば、たいへん興味深いことである。

〈表紙写真〉瀬戸内海賊の拠点のひとつ鹿島 (右が鹿島、左には伊予の二見といわれる玉理と寒戸の夫婦岩が見える)

## 新刊ニュース

11・12月の新刊 \*発売予定のものもあります

## 歴史一般 事典/年表・地図/歴史学・補助学

公益財団法人古代学協会編  
角田文衛の古代学 4

角田文衛自叙伝

A 5判 400頁 5,000円

吉川弘文館 [11月刊]

戦後の歴史研究に輝かしい業績を遺した「角田史学」の全容を明らかにするシリーズ、刊行開始。生粋の歴史学者95年の生涯を追う。

978-4-642-07899-3

大石学・時代考証学会編  
時代劇メディアが語る歴史

表象とリアリズム

A 5判 216頁 3,200円

岩田書院 [11月刊]

俳優・穴戸開氏を迎えて開かれた同名のシンポジウムの記録と、大河ドラマ放映と観光地に関する特論4編を収録する。

978-4-86602-101-5

山内昌之著  
歴史家の展望鏡

四六判 312頁 3,400円

みすず書房 [12月刊]

『歴史家の本棚』に始まる書評エッセーシリーズの4冊目。本書にまとめられるのは2010年後半から2014年末までの文章である。

978-4-622-08560-7

ノーベル賞の記録編集委員会編  
ノーベル賞 117年の記録

B 5判 168頁 1,600円

山川出版社 [12月刊]

ノーベル賞各部門の受賞者を年ごとに受賞内容と共にすべて網羅。後々まで大きな影響を与えたものに関しては写真と解説も付した画期的な一冊。

978-4-634-15124-6

## 考古学 概論・通史/日本/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/その他

泉 武著  
キトラ・高松塚古墳の星宿図

ものが語る歴史 37

A 5判 280頁 予価 5,500円

同成社 [12月刊]

キトラ・高松塚古墳の星宿図はなぜ描かれたのか。歴史的背景の検証、中国・韓半島事例との比較、画題の分析等を通し、その成立の謎に迫る。

978-4-88621-778-3

アジア考古学四学会編  
農耕の起源と拡散

(アジアの考古学 3)

A 5判 336頁 7,000円

高志書院 [10月刊]

日本列島を含む東アジアや西アジア型農耕が拡散した西アジア周辺、アフリカ・アメリカ両大陸もあわせた農耕起源の世界史。

978-4-86215-172-8

小林謙一著  
縄紋時代の実年代

土器型式編年と炭素 14年代

A 5判 274頁 4,800円

同成社 [10月刊]

列島各地で出土する土器付着物等の炭素 14年代測定の結果から較正年代を算出。縄紋時代13000年間の土器型式別の実年代を検証する。

978-4-88621-774-5

加藤俊平著  
双脚輪状文の伝播と古代氏族

B 5判 240頁 9,000円

同成社 [12月刊]

古墳や埴輪に描かれる双脚輪状文の起源や分布、各地の特性や伝播の実態について、主に軍事や水運に携わった「多氏」に着目しつつ追究する。

978-4-88621-771-4

寺沢 薫著

## 弥生時代国家形成史論

弥生時代政治史研究

B 5 判 640 頁 35,000 円

吉川弘文館 [12 月刊]

戦争の痕跡や集落と墓の分析から、首長間の階級関係を地域構造の重層化として提示。考古学の成果だけでなく国家理論の現状にも触れる。

978-4-642-09351-4

山口博之著

## 中世奥羽の墓と霊場

(東北中世史叢書 3)

A 5 判 340 頁 7,000 円

高志書院 [12 月刊]

文字には残りにくい中世人の心性を墓や塔婆などのモノ資料から迫り、聖地・霊地の遺跡に光を当てながら東北中世史の歴史を解明する。

978-4-86215-176-6

山本孝文著

## 古代朝鮮の国家体制と考古学

A 5 判 328 頁 10,000 円

吉川弘文館 [11 月刊]

墳墓と葬制、土器様式、文書行政の開始、服飾など、発掘資料から国家体制を追究。考古学的手法で鋭くアプローチした画期的な一冊。

978-4-642-08153-5

## 日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

瀬野精一郎監修・吉川弘文館編集部編

## 花押・印章図典

B 5 横判 270 頁 3,300 円

吉川弘文館 [12 月刊]

日本史上の人物が使用した花押約 2000 と印章約 400 を収録。各人物の基本情報や、用語解説や参考文献、没年順索引を収める。

978-4-642-08327-0

中澤克昭・河西克造編

## 甲信越の名城を歩く 長野編

A 5 判 294 頁 2,500 円

吉川弘文館 [12 月刊]

長野県から精選した名城 59 を、北信・東信・中信・南信に分け、豊富な図版を交えて紹介。城探訪の手引きに最適な甲信越編の第 3 弾。

978-4-642-08289-1

大橋信弥著

## 小野妹子・毛人・毛野

唐國、妹子臣を號けて蘇因高と曰ふ

四六判 368 頁 3,500 円

ミネルヴァ書房 [12 月刊]

妹子の実像と彼が登場する歴史的背景、小野氏の来歴から子の毛人、孫の毛野ら子孫の活躍までを文献史料・考古資料を駆使し詳細に追う。

978-4-623-08168-4

市川理恵著

## 正倉院写経所文書を読みとく

A 5 判 234 頁 4,700 円

同成社 [12 月刊]

正倉院文書の大部分を占める写経所文書。作成の順番と目的を整理し、写経事業毎の研究論文と成果をまとめた読解のための必携書。

978-4-88621-777-6

日本書紀研究会編

## 日本書紀研究 第32冊

A 5 判 292 頁 9,000 円

塙書房 [11 月刊]

執筆者= 生田敦司／上遠野浩一／西川寿勝／宇野慎敏／中井かをり／中塚 武／長谷川恵理子／長谷部寿彦／八木 充

978-4-8273-1532-5

GBS 実行委員会編

## 古代東大寺の世界

(ザ・グレートブッダシンポジウム論集 第 14 号)

A 4 判 152 頁 2,000 円

法蔵館 [11 月刊]

古代の社会・経済・文化を知る手がかりとなる『東大寺要録』について最新の研究成果の報告をもとに書き下ろされた論集。

978-4-8318-0714-4

佐藤文子著

## 日本古代の政治と仏教

国家仏教論を超えて

A 5 判 288 頁 11,000 円

吉川弘文館 [12 月刊]

得度と為政者との関係、天皇権の発動契機分析から古代の権力を追究。〈国家仏教〉論の歴史的成立過程を解明し、従来の理解を克服。

978-4-642-04640-4

寺内 浩著

**平安時代の地方軍制と天慶の乱**

A 5判 296頁 9,000円 塙書房 [11月刊]

平安時代の地方軍制の実態や変容について、武器・食料などの財政史的視点と、九世紀と十世紀前中期を連続的にとらえる視点をもって考察。

978-4-8273-1291-1

GBS 実行委員会編

**日宋交流期の東大寺**

(ザ・グレイトブッダシンポジウム論集 第15号)

A 4判 152頁 2,000円 法蔵館 [11月刊]

齋然上人一千年大遠忌にちなみ、ゆかりの東大寺でのシンポジウムの発表をまとめた論文集。日宋両国の架け橋となった齋然の具体相に迫る。

978-4-8318-0715-1

今泉隆雄著

**古代国家の地方支配と東北**

A 5判 280頁 9,000円 吉川弘文館 [12月刊]

按察使や郡司など地方制度の実証的研究とともに、陸奥南部=南奥に光をあて東北古代史を見直す。未発表稿を含む研究7編を収録する。

978-4-642-04641-1

大塚紀弘著

**日宋貿易と仏教文化**

A 5判 352頁 11,000円 吉川弘文館 [12月刊]

民間の唐船による貿易が日本の社会・文化にもたらした影響を考察。特に、僧侶が宝篋印塔などの新しい文化をもたらしたことを解明。

978-4-642-02940-7

山岸裕美子著

**中世武家服飾変遷史**

A 5判 264頁 9,000円 吉川弘文館 [12月刊]

武士は公家に対抗し、秩序としていかなる服飾体系を築いたか。絵巻と日記類の記述を考察。中世服飾史上の大転換を論じた意欲作。

978-4-642-02941-4

石原比伊呂著

**足利将軍と室町幕府**

時代が求めたリーダー像 (戎光祥選書ソレイユ001)

四六判 210頁 1,800円 戎光祥出版 [12月刊]

選書の新シリーズの第一弾。日本中世史・室町期公武関係論の研究家である著者が、室町幕府(将軍家)と天皇家の友好関係について詳述する。

978-4-86403-274-2

樋口健太郎著

**九条兼実**

貴族がみた『平家物語』と内乱の時代 (戎光祥選書ソレイユ002)

四六判 162頁 1,800円 戎光祥出版 [12月刊]

平安時代末期から鎌倉時代初期にかけて活躍した公家・九条兼実(関白・太政大臣)がみた『平家物語』と内乱の時代について多くの同時代史料をもとに再検証する。

978-4-86403-275-9

戦国史研究会編

**戦国期政治史論集 東国編**

A 5判 356頁 7,400円 岩田書院 [12月刊]

東北から駿遠地域までの東国に関する論考13編を収録。執筆：山田邦明代表ほか。「西国編」も同時刊行。

978-4-86602-012-9

戦国史研究会編

**戦国期政治史論集 西国編**

A 5判 368頁 7,400円 岩田書院 [12月刊]

三河以西、中国地方までの西国(四国・九州は含まず)に関する論考13編を収録。執筆：山田邦明代表ほか。「東国編」も同時刊行。

978-4-86602-013-6

誓願寺文書研究会編

**誓願寺文書の研究**

戦国・京都・総本山

B 5判 922頁 揃8,400円 岩田書院 [12月刊]

新京極に位置し、京洛一の賑わいを誇った誓願寺所蔵史料を全点翻刻し、別冊にその写真を収録。他に関係史料、総論、研究論文を収録。

978-4-86602-805-7

高橋成計著

**織豊系陣城事典**

(図説 日本の城郭シリーズ6)

A 5判 286頁 2,600円 戎光祥出版 [11月刊]

著者は徹底した現地調査に基づく縄張図を描くことで知られる城郭研究家。軍事的な防御を前提とし、合戦時の陣城を中心に、織豊期の161城を、豊富な資料を用いて紹介する。978-4-86403-270-4

小谷利明・弓倉弘年編

## 南近畿の戦国時代

躍動する武士・寺社・民衆（戎光祥中世史論集 5）

A 5判 260頁 3,800円

戎光祥出版 [12月刊]

高野山や興福寺、一向一揆や寺内町など多種多様な宗教勢力を抱え、独自の地域圏を形成した中世の南近畿の各地域を横断的に検証。

978-4-86403-267-4

石渡洋平著

## 上杉謙信

（シリーズ・実像に迫る 14）

A 5判 112頁 1,500円

戎光祥出版 [12月刊]

越後国から天下を窺った戦国武将・上杉謙信の華麗なる生涯を最新の研究成果をもとに詳述。当時の史料に基づきながら、激動の時代を駆け抜けた謙信の生き方に迫る。

978-4-86403-271-1

黒田基樹編著

## 関東上杉氏一族

（中世関東武士の研究 22）

A 5判 397頁 6,500円

戎光祥出版 [12月刊]

関東を中心に活躍した上杉氏一族のほか、京都の上杉氏などに関する再録論文集。総論では上杉氏一族の動向を整理し、最新の研究成果を盛り込んでいる。

978-4-86403-269-8

丸島和洋著

## 校注・本藩名士小伝

真田昌幸・信之の家臣録

A 5判 230頁 4,000円

高志書院 [10月刊]

真田昌幸・信之の家臣たちの事蹟を記録した史料翻刻に詳細な解説と補注をほどこす真田氏研究の基礎文献。

978-4-86215-173-5

福原圭一・前嶋敏編

## 上杉謙信

A 5判 300頁 6,000円

高志書院 [11月刊]

上杉謙信の歴史像を史料の新たな年次比定や新出史料をもとに、従来の俗説をくつがえし、定説の再検討に迫る。

978-4-86215-174-2

丸島和洋著

## 武田勝頼

試される戦国大名の「器量」（中世から近世へ）

四六判 386頁 1,900円

平凡社 [9月刊]

偉大な父信玄の跡目を継いだ勝頼。彼の足跡や御家事情などを通して、大名の「戦争」の意味を探り、戦国大名像の真実に迫る。

978-4-582-47732-0

平井上総著

## 兵農分離はあったのか

（中世から近世へ）

四六判 312頁 1,700円

平凡社 [9月刊]

中世から近世への社会転換を示す重要要素とされる「兵農分離」。いま、この概念の存在自体が揺らいでいる。歴史ファン必読の一書。

978-4-582-47734-4

黒田基樹著

## 北条氏康の妻 瑞溪院

政略結婚からみる戦国大名（中世から近世へ）

四六判 290頁 1,700円

平凡社 [12月刊]

名門今川家の出にして、関東最大の戦国大名・北条氏康の正妻。彼女を中心とした婚姻関係が北条家の動向に及ぼした影響をたどる。

978-4-582-47736-8

朝鮮日々記研究会

## 朝鮮日々記を読む

真宗僧が見た秀吉の朝鮮侵略

A 5判 400頁 7,500円

法蔵館 [11月刊]

戦国末期を代表する戦場日記『朝鮮日々記』の全文翻刻と論考9本を収録。新しい視点から慶長の役を問い直す注目の書が待望の復刊！

978-4-8318-6551-9

深谷幸治著

## 織田信長と戦国の村

天下統一のための近江支配（歴史文化ライブラリー 457）

四六判 234頁 1,700円

吉川弘文館 [11月刊]

近江を事例に、各郡を管轄した佐久間信盛らの行政、武将の立場などを解明。村落の側からも政権の特質に迫った、新視点の戦国時代史。

978-4-642-05857-5

遠藤ゆり子著

## 中近世の家と村落

フィールドワークからの視座

A 5判 396頁 8,800円

岩田書院 [12月刊]

村落を支える百姓の家がもつ関係性や、多元的な諸集団に注目し、立体的で動態的な村落社会像・地域社会像を描く。

978-4-86602-017-4



- 高橋慎一朗著  
**鎌倉の歴史**  
谷戸めぐりのススメ  
A 5判 300頁 3,000円 高志書院 [12月刊] 978-4-86215-175-9
- ハイキングや観光がてらに、鎌倉の歴史を少しでも感じたい方のためのちょっと深めの歴史読本。この本片手に、いざ鎌倉!
- 高志書院 [12月刊]
- 978-4-86215-175-9
- 松本良太著  
**武家奉公人と都市社会**  
(歴史科学叢書)  
A 5判 360頁 10,000円 校倉書房 [11月刊] 978-4-7517-4780-3
- 人宿と抱元という特異な奉公人調達に関わる諸相、これら奉公人の身元保証システム、労働慣行の実態、武家奉公人の欠落者の事例分析など。
- 校倉書房 [11月刊]
- 978-4-7517-4780-3
- 川村由紀子著  
**江戸・日光の建築職人集団**  
(近世史研究叢書 47)  
A 5判 442頁 9,900円 岩田書院 [11月刊] 978-4-86602-008-2
- 17世紀末～18世紀中頃の、江戸幕府作事方および、その下に編制された町方の職人集団の実態とその特質を解明する。
- 岩田書院 [11月刊]
- 978-4-86602-008-2
- 野口良平著  
**幕末的思考**  
四六判 320頁 3,600円 みすず書房 [11月刊] 978-4-622-08652-9
- 幕末から明治は暗から明への昇華ではない。転向と隠蔽を伴う近代化により挫折したこの国の思考を辿る、不屈の試論。
- みすず書房 [11月刊]
- 978-4-622-08652-9
- (予) 高橋則英監修  
**幕末維新の日本**  
レンズが撮らえた  
菊 5判 208頁 1,600円 山川出版社 [12月刊] 978-4-634-15126-0
- 幕末維新150年記念! 幕末明治の日本の風景・文化・人物を古写真で紹介する。これまでのシリーズに収録できなかった多くの写真を掲載。
- 山川出版社 [12月刊]
- 978-4-634-15126-0
- 神谷大介著  
**幕末の海軍**  
明治維新への航跡 (歴史文化ライブラリー 459)  
四六判 280頁 1,800円 吉川弘文館 [12月刊] 978-4-642-05859-9
- 西洋の新技術はいかに導入されたか。蒸気船の普及、海軍教育、軍港の成立から戊辰戦争の展開をたどり、明治維新のメカニズムに迫る。
- 吉川弘文館 [12月刊]
- 978-4-642-05859-9
- 東京日日新聞社・大阪毎日新聞社編  
**秘録 維新七十年図鑑 (新装版)**  
菊倍判 272頁 10,000円 吉川弘文館 [12月刊] 978-4-642-03870-6
- 昭和12年に開催された、政治博覧会の展示品をまとめた図鑑。現在失われた古文書や実物資料を豊富に掲載した稀覯本を新装復刊。
- 吉川弘文館 [12月刊]
- 978-4-642-03870-6
- 平山 洋著  
**「福沢諭吉」とは誰か**  
先祖考から社説真偽判定まで  
四六判 276頁 3,500円 ミネルヴァ書房 [11月刊] 978-4-623-08069-4
- 福沢の言論がどのように近代日本の思想界に影響を与えたか。いまだ解明されていない福沢諭吉の足跡を辿る。
- ミネルヴァ書房 [11月刊]
- 978-4-623-08069-4
- 尚友倶楽部品川弥二郎関係文書編纂委員会編  
**品川弥二郎関係文書 8**  
A 5判 584 + 8頁 7,000円 山川出版社 [12月刊] 978-4-634-51080-7
- 明治期の官僚政治家である品川弥二郎宛ての書簡を差出人別・年代順に編集・翻刻する。第8巻は山県有朋などの書簡約550通を収載。
- 山川出版社 [12月刊]
- 978-4-634-51080-7
- 牛米 努著  
**近代日本の課税と徴収**  
A 5判 368頁 7,400円 有志舎 [11月刊] 978-4-908672-16-3
- 近代日本における課税から納税までの基礎的な税の仕組みを考察。真の意味での「租税史」をここに提示する。
- 有志舎 [11月刊]
- 978-4-908672-16-3
- 金 誠著  
**近代日本・朝鮮とスポーツ**  
支配と抵抗、そして協力へ (場選書 122)  
B 6判 238頁 2,400円 塙書房 [12月刊] 978-4-8273-3122-6
- 統治技術としてのスポーツ、ナショナリズム高揚のためのスポーツ、支配する側とされる側の視点から植民地社会におけるスポーツの実際を迫る。
- 塙書房 [12月刊]
- 978-4-8273-3122-6

中村江里著

## 戦争とトラウマ

不可視化された日本兵の戦争神経症

A 5判 336頁 4,600円

吉川弘文館 [12月刊]

アジア・太平洋戦争期に軍部の注目を集めた戦争神経症。様々な医療アーカイブズや医師への聞き取りから忘却されたトラウマに迫る。

978-4-642-03869-0

竹山昭子著

## 戦争と放送

(読みなおす日本史)

四六判 272頁 2,400円

吉川弘文館 [12月刊]

ラジオ放送は開始と同時に政府の統制下に置かれた。原爆など都合な情報を秘され、政府に従う国民。情報操作に果たした役割を解明。

978-4-642-06757-7

池 享・櫻井良樹・陣内秀信・西木浩一・吉田伸之編

## みる・よむ・あるく 東京の歴史 2

通史編2 江戸時代

B 5判 160頁 2,800円

吉川弘文館 [11月刊]

家康の入府以来、巨大城下町へと変貌する江戸。幕藩権力や物流、人びとの生活を支えるインフラや都市行政…。人びとの営みを描く。

978-4-642-06827-7

池 享・櫻井良樹・陣内秀信・西木浩一・吉田伸之編

## みる・よむ・あるく 東京の歴史 3

通史編3 明治時代～現代

B 5判 160頁 2,800円

吉川弘文館 [12月刊]

明治維新により江戸は「東京」と名前を変え、首都となった。都市化の進展、震災と戦災、今日の国際化まで、激動の近現代史に迫る。

978-4-642-06828-4

## 世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

木村靖二・岸本美緒・小松久男編

## 詳説世界史研究

A 5判 576頁 2,500円

山川出版社 [12月刊]

世界通史のロングセラーを新執筆陣で全面改訂。「詳説世界史」の構成に準じ、教科書の内容を掘り下げて叙述。歴史学的なコラムも多数掲載。

978-4-634-03088-6

戸崎哲彦著

## 柳宗元

アジアのルソー(世界史リフレット人 17)

A 5変型 108頁予定 800円

山川出版社 [12月刊]

安史の乱後、改革に失敗し追放された後も、「政治は民のためにある」という観点を貫徹した唐代の文学者柳宗元の人生を追う。

978-4-634-35017-5

古畑 徹著

## 渤海国とは何か

(歴史文化ライブラリー 45B)

四六判 240頁 1,700円

吉川弘文館 [12月刊]

古代中国東北部～朝鮮半島北部に栄えた渤海国。国際交流を軸に地域の大きな枠組みに焦点を合わせ捉え直し、多民族国家の実像に迫る。

978-4-642-05858-2

丸亀裕司著

## 公職選挙にみるローマ帝政の成立

(山川歴史モノグラフ 34)

A 5判 280頁 5,000円

山川出版社 [11月刊]

皇帝権力が成立する過程で公職者選出のあり方がいかに変容したか、皇帝権力との関与を通時的に検討。先行研究とは異なるローマ皇帝像を描く。

978-4-634-67392-2

仲松優子著

## アンシアン・レジーム期フランスの権力秩序

蜂起をめぐる地域社会と王権

A 5判 278頁 6,000円

有志舎 [12月刊]

18世紀フランスの地域権力と民衆蜂起のあり方から、アンシアン・レジームそのものを問い直し、フランス革命との関係性をも再考する。

978-4-908672-17-0

三佐川亮宏著

## 紀元千年の皇帝

オットー3世とその時代(刀水歴史全書 94)

四六判 450頁 3,700円

刀水書房 [12月刊]

天逝後「世界の驚異」と呼ばれたオットー三世の在位6年弱。普遍的・超国家的な神聖ローマ帝国からキリスト教帝国に再編・統合へ向かった彼の試みを活写。

978-4-88708-437-7

関 静雄著

**ミュンヘン会談への道**

ヒトラー対チェンバレン 外交対決 30 日の記録

A 5 判 572 頁 8,500 円 ミネルヴァ書房 [11 月刊]

1938 年 9 月のミュンヘン危機に焦点を当て、チェンバレンとヒトラーの 4 回にわたる直接会談を中心に英独外交戦略の実像を明らかにする。

978-4-623-08089-2

橋本伸也編著

**せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題**

ナチズムと社会主義の過去をめぐる葛藤

A 5 判 336 頁 5,000 円 ミネルヴァ書房 [12 月刊]

中東欧・ロシアは、いかなる歴史認識問題を抱えているのか。ホロコースト、共産主義、民族浄化の「記憶」が、政治を左右する実態を描く。

978-4-623-08094-6

中嶋 毅著

**スターリン**

超大国ソ連の独裁者 (世界史リブレット 89)

A 5 変型 112 頁予定 800 円 山川出版社 [12 月刊]

独ソ戦に勝利した偉大な指導者か、大量抑圧を推進した冷酷非道な独裁者か。今日も評価が揺れ動くスターリンの生涯を描き出す。

978-4-634-35089-2

**文化史**

文化史一般 / 政治・外交・経済 / 思想・宗教 / 教育・科学 / 文学・美術・芸術 / 社会生活

仲尾宏編著 町田一仁編著

**ユネスコ世界記憶遺産と朝鮮通信使**

A 5 判 160 頁 1,600 円 明石書店 [12 月刊]

日韓の民間団体が世界記憶遺産申請への経緯を紹介。両国の友好交流の面で特筆される朝鮮通信使を知るためのガイドブックである。

978-4-7503-4603-8

(仮)「歴代オリンピックでわかる世界現代史」編集委員会篇

**(仮) 歴代オリンピックでわかる世界現代史**

B 5 判 160 頁予定 予備 1,600 円 山川出版社 [12 月刊]

2020 年で 124 年目を迎えるオリンピック。各大会の概要と国際情勢を多数の図版、写真とともに解説。オリンピックを通して世界現代史を見る。

978-4-634-15125-3

小峰彌彦監修・中野展子著

**梵字入門**

願いをかなえるお守り文字

A 5 判 144 頁 1,500 円 東京堂出版 [12 月刊]

文字にそれぞれ神聖な力が備わっているとされる梵字。寺社めぐり等で梵字に興味をもつ読者にも分かるように文字の意味や書き方を解説。

978-4-490-20974-7

曾根原 理著

**徳川時代の異端的宗教**

戸隠山別当乗因の挑戦と挫折

A 5 判 182 頁 2,600 円 岩田書院 [12 月刊]

神道一実霊崇神道を提唱し、八丈島に流された江戸中期の特異な思想家である天台僧・乗因の〈異端〉性を明らかにする。

978-4-86602-018-1

長澤昌幸著

**一遍仏教と時宗教団**

A 5 判 340 頁 5,000 円

法蔵館 [11 月刊]

「捨ててこそ」を標榜し、遊行の果てに生涯を終えた一遍。遺された門弟が「一期ばかり」だったはずの一遍の思想を伝統化してゆく過程を追った稀少作。

978-4-8318-7509-9

三谷真澄編

**「世界」へのまなざし**

(龍谷大学アジア仏教文化研究センター 文化講演会シリーズ 2)

四六判 116 頁 1,300 円 法蔵館 [12 月刊]

現存最古の世界地図が語る世界、欧州に学んだ知の巨人・南方熊楠の目に映ったアジア、宗教者にして農業家の大谷光瑞が抱いた世界像とは。

978-4-8318-6431-4

戸次公正著

**真宗大谷派のゆくえ**

ラディカルに問う儀式・差別・靖国

A 5 判 240 頁 2,800 円 法蔵館 [12 月刊]

真宗大谷派が長年抱えてきた権威主義的姿勢や差別問題が克服されたのかを厳しく問い、さらなる改革への道筋を明らかにする問題作!

978-4-8318-8760-3

藤森 馨著

## 古代の天皇祭祀と神宮祭祀

A 5判 320頁 9,500円 吉川弘文館 [11月刊]

天皇が執り行う天皇祭祀と、伊勢神宮で行われる神宮（伊勢）祭祀との密接不可分な構造上の対応関係を、具体的な祭儀をもとに考察。

978-4-642-04639-8

神田秀雄著

## 如来教の成立・展開と史的基盤

江戸後期の社会と宗教

A 5判 360頁 11,000円 吉川弘文館 [11月刊]

尾張国熱田で元奉公人の女性によって創唱された如来教。互恵の伝統の再構築を志向した経緯を追究し、民衆宗教の出自を解き明かす。

978-4-642-03481-4

芳澤 元著

## 日本中世社会と禅林文芸

A 5判 312頁 8,500円 吉川弘文館 [12月刊]

漢文や肖像画から、足利将軍や武家との関わりなど、禅宗寺院と世俗の相互関係を活写。仏教史から新たな中世社会像を切り拓く。

978-4-642-02942-1

西尾知己著

## 室町期顕密寺院の研究

A 5判 356頁 11,000円 吉川弘文館 [12月刊]

東寺と東大寺は室町期の政治・社会状況にいかに対応したか。幕府権力を背景に影響力を発揮した貴種僧などから寺家運営の実態を解明。

978-4-642-02943-8

高野信治著

## 武士神格化の研究（全2冊）

A 5判 総800頁 16,000円 吉川弘文館 [12月刊]

全国の四千以上の武士祭神を見出して祀られる契機と過程を解明。日本人の精神性の構造を読み解く。郷土史研究にも不可欠な書。 分売不可

978-4-642-03482-1

松田 聡著

## 家持歌日記の研究

A 5判 614頁 15,000円 塙書房 [11月刊]

万葉集末四巻の主題、伝聞歌、題詞・左注を考察。末四巻が幾つかの主題を軸に編まれ、その総体が家持歌日記として構想されていることを立証。

978-4-8273-0128-1

細川涼一著

## 平家物語の女たち

大力・尼・白拍子（読みなおす日本史）

四六判 200頁 2,200円 吉川弘文館 [11月刊]

『平家物語』には魅力的な女性も多く登場する。男勝りの武者巴、義経の愛妾静などの歴史事象から描かれたイメージを読み解く。

978-4-642-06756-0

土屋礼子編

## 日本メディア史年表

菊判 384頁 6,500円 吉川弘文館 [12月刊]

1837年の電信機発明から現代まで、マスコミ関連会社の発足やメディアをめぐる事件、技術革新、映画・文学作品を年表で掲載。

978-4-642-01477-9

岸川雅範著

## 江戸天下祭の研究

近世近代における神田祭の持続と変容

A 5判 418頁 8,900円 岩田書院 [11月刊]

天下祭は神田祭と山王祭をさすが、本書は神田祭を中心に、神輿行列、附祭の山車、御雇祭などから、その変遷を明らかにする。

978-4-86602-014-3

鳥越皓之著

## 自然の神と環境民俗学

A 5判 212頁 2,200円 岩田書院 [11月刊]

山神・水神・風神・雷神などの自然の神々と人々の暮らし、山への信仰と花見、信仰世界とその実践を、環境民俗学の視点から捉えなおす。

978-4-86602-011-2

福江 充著

## 立山信仰と三禅定

立山衆徒の檀那場と富士山・立山・白山

A 5判 406頁 8,800円 岩田書院 [11月刊]

江戸期には、富士山・白山・立山の三霊場を巡礼する壮大で苛酷な参詣があり、立山衆徒の檀那場形成に関わりが深い。

978-4-86602-009-9

都市史学会編  
**都市史研究 4**  
(都市史研究)  
 B 5 判 176 頁 3,800 円

山川出版社 [12 月刊]

都市史学会誌第 4 号。論文「江戸市中における堀川の空間動態とその存続—『古町之川岸』の川濠を通して」の他、研究ノート・小特集など。

978-4-634-52754-6

## 伝記

福島行一著  
**大佛次郎**

一代初心

四六判 362 頁 3,200 円

ミネルヴァ書房 [11 月刊]

明治維新、進取の気風の中で生まれ育った大佛次郎。「鞍馬天狗」から「天皇の世紀」に至る大佛次郎の全仕事を解説する。

978-4-623-07880-6

谷崎昭男著  
**保田與重郎**

吾ガ民族ノ永遠ヲ信ズル故ニ

四六判 392 頁 4,000 円

ミネルヴァ書房 [12 月刊]

『コギト』『日本浪漫派』などの同人誌や新学社の立ち上げ、義仲寺復興などの取り組みを詳細に解説。貫き通した思想・信念に迫る。

978-4-623-08223-0

## 地理

金田章裕著  
**古代国家の土地計画**

条里プランを読み解く

四六判 264 頁 2,800 円

吉川弘文館 [12 月刊]

一町四方の地割と位置を示す条里呼称を合わせた「条里プラン」の成立と展開・改変過程を探る。壮大な古代の土地プランの実態に迫る。

978-4-642-08328-7

## 重版

上原兼善著  
**近世琉球貿易史の研究**

(近世史研究叢書 44)

A 5 判 552 頁 12,800 円

岩田書院 [2016. 6 月刊]

日経・経済図書文化賞、徳川賞、角川源義賞、3 賞受賞！。進貢貿易の基本的な構造を明らかにし、幕藩制国家との関係を読み解く。【増刷出来】

978-4-86602-957-3

## 雑誌

**日本歴史**

日本歴史学会編集

12 月号 (第 835) = 11 月刊

1 月号 (第 836) = 12 月刊

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料 8,300 円 [税・送料込]

## ◆各種割引制度有

二年間前払い 16,000 円 [税・送料込]

三年間前払い 23,500 円 [税・送料込]

学生・院生 一年間 5,000 円 [税・送料込]

A 5 判 12 月号 = 130 頁、1 月号 = 162 頁

12 月号 = 741 円、1 月号 = 972 円

吉川弘文館 [11・12 月刊]

# 会員社刊行の2017年受賞図書

## 【第7回 日本考古学協会賞 大賞】

古代王権の形成と埴輪生産 廣瀬 覚著……………B5判 10,000円 同成社  
考古学研究の活性化並びに考古学の啓発と普及、人材の育成、社会貢献の増大などを目的に考古学上の業績、及び関連諸分野における考古学関係の業績を賞するもの。

## 【2017年度 第6回 日本南アジア学会賞】

インダス文明の社会構造と都市の原理 小茄子川 歩……………B5判 9,000円 同成社  
南アジアに関する研究の奨励を目的として、若手研究者を対象に設けられた賞。

## 【第2回 斎藤茂太賞審査員特別賞】

チベット 聖地の路地裏 村上大輔著……………A5判 2,400円 法蔵館  
一般社団法人日本旅行作家協会が、旅にかかわる優れた著作を表彰するもので、長年にわたり日本の旅行文化発展に貢献した同会創立者の故・斎藤茂太氏（作家・精神科医）の功績をたたえ、またその志を引き継ぐために創設した賞。

## 【第38回 日本出版学会奨励賞】

日韓交流と高麗版大蔵経 馬場久幸著……………A5判 8,500円 法蔵館  
出版の調査・研究に関するすぐれた著作に対して、授与される賞。

## 【第34回 田邊尚雄賞】

仏教の声の技 大内 典著……………A5判 3,500円 法蔵館  
1983年に東洋音楽学会によって設立され、音楽学とりわけ民族音楽学の優れた研究業績に対する賞。

## 【第21回(2017年度) 国際開発研究 大来賞】

野蛮から生存の開発論 佐藤 仁著……………四六判 3,000円 ミネルヴァ書房  
国際開発の分野で大きな足跡を残し、一般財団法人国際開発機構の初代評議員会会長を務めた元外務大臣大来佐武郎氏を記念して、この分野における研究を奨励するため、国際開発の様々な課題に関する優れた指針を示す研究図書を顕彰する。

## 【第18回 損保ジャパン日本興亜福祉財団賞】

ソーシャルワークにおける「価値」と「原理」 衣笠一茂著  
……………A5判 8,000円 ミネルヴァ書房  
社会福祉分野の優秀な研究者を育成する一助として、社会福祉に関する学術文献を表彰するため設けられた賞。

## 【平成29年度(第40回) 労働関係図書優秀賞受賞】

グローバル化のなかの労使関係 首藤若菜著……………A5判 5,500円 ミネルヴァ書房  
労働に関する総合的な調査研究を奨励し、労働問題に関する知識と理解を深めることを目的として行われる、優秀図書の表彰事業。

## 【第4回福祉社会学会賞（学術賞）】

介護はいかにして「労働」となったのか 森川美絵著

.....A5判 6,000円 ミネルヴァ書房  
 福祉社会学研究の一層の発展のために、福祉社会学会賞を設け、優れた研究業績を発表した会員を表彰する。

## 【2017年度 環太平洋産業連関分析学会 学術賞】

東日本大震災からの地域経済復興 本田 豊／中澤純治著

.....A5判 6,500円 ミネルヴァ書房  
 環太平洋産業連関分析学会会員のうち産業連関分析分野の優れた業績をあげた会員、あるいは本学会に顕著な貢献があった会員の優れた論文あるいは著書に授与される。

## 【2017年度 国際開発学会賞 奨励賞】

紛争下における地方の自己統治と平和構築 林 裕著

.....A5判 4,500円 ミネルヴァ書房  
 国の国際開発にかかわる諸問題に関する研究成果をとりまとめて公表された国際開発学会会員の著作および論文に授与される。うち奨励賞は、若手研究者及び実務家による業績で、優れた将来性のある作品を対象とする。

## 【日本リスクマネジメント学会 優秀著作賞】

子どもの遊び場のリスクマネジメント 松野敬子著

.....A5判 3,000円 ミネルヴァ書房  
 リスクマネジメントに関する学術的研究を促進し、これに関する知識の普及を図り、もってリスクマネジメントの学術的研究とその健全な発展に寄与すると認められる著作を表彰する。

## 【平成29年度 観光学術学会 教育・啓蒙著作賞】

観光教育への招待 寺本 潔／澤 達大編著.....A5判 2,000円 ミネルヴァ書房

観光学術学会会員を対象に観光学の教育・啓蒙に寄与した著作の著者に授与する。前年までの過去3年間に発行されたものを対象とする。

## 【第10回(2017年度)日本都市社会学会賞（磯村記念賞）】

民族関係の都市社会学 谷 富夫著.....A5判 5,500円 ミネルヴァ書房

日本都市社会学会の内規にもとづき授与される賞。

## 【第10回(2017年度)日本都市社会学会賞（磯村記念賞）】

日本において都市社会学はどう形成されてきたか 松尾浩一郎著

.....A5判 7,000円 ミネルヴァ書房

日本都市社会学会の内規にもとづき授与される賞。

【2016年 日本都市学会賞（奥井記念賞）】

日本において都市社会学はどう形成されてきたか 松尾浩一郎著

..... A5判 7,000円 ミネルヴァ書房  
故奥井復太郎日本都市学会初代会長の都市研究の功績を記念し、都市研究の進歩発展に顕著な貢献をしたものを表彰することを目的とする。

【日本協同組合学会 2017年度 学会賞 奨励賞】

社会的企業への新しい見方 米澤 旦著..... A5判 5,800円 ミネルヴァ書房  
協同組合に関する優れた研究業績を表彰し、協同組合研究の奨励を図ることを目的として設けられた賞。

【第28回(平成28年)日本風俗史学会 江馬賞】

辻占の文化史 中町泰子著..... A5判 8,000円 ミネルヴァ書房  
日本風俗史学会会員が公表した著述・論文のうちから風俗史学研究に著しく貢献した業績に対し授与。

【2017年 日本建築学会著作賞】

現代日本ハウジング史 住田昌二著..... A5判 7,000円 ミネルヴァ書房  
日本建築学会会員が執筆した建築にかかわる著書であって、学術・技術・芸術などの進歩発展あるいは建築文化の社会への普及啓発に寄与した優れた業績に授与される。

【2017年 日本建築学会著作賞】

辰野金吾 河上真理／清水重敦著..... 四六判 2,500円 ミネルヴァ書房  
日本建築学会会員が執筆した建築にかかわる著書であって、学術・技術・芸術などの進歩発展あるいは建築文化の社会への普及啓発に寄与した優れた業績に授与される。

【平成29年度 麗澤大学学長賞】

廣池千九郎 橋本富太郎著..... 四六判 3,500円 ミネルヴァ書房  
麗澤大学における学術・研究、教育、社会貢献活動の振興・奨励をはかるために、顕著な業績をあげた教員を表彰する。

【平成29年度 麗澤大学研究奨励賞】

日本道德教育の歴史 江島顕一著..... A5判 4,200円 ミネルヴァ書房  
麗澤大学における学術・研究、教育、社会貢献活動の振興・奨励をはかるために、顕著な業績をあげた教員を表彰する。

【第7回 地域研究コンソーシアム賞・登竜賞】

胎動する国境 英領ビルマの移民問題と都市統治 長田紀之著  
..... A5判 5,000円 山川出版社  
地域研究コンソーシアム（JCAS）から、地域研究の推進において大きな貢献のあった研究業績や共同研究企画、社会連携活動に与えられる賞。登竜賞は、大学院生および最終学歴修了後10年程度以内を目安とする研究者による学術研究業績が対象。



## 【第5回 古代歴史文化賞 大賞】

タネをまく縄文人 最新科学が覆す農耕の起源 小畑弘己著…四六判 1,700円 吉川弘文館  
 島根県、奈良県、三重県、和歌山県、宮崎県が共同で古代の歴史文化に関する優れた書籍を表彰するもの。

## 【第5回 古代歴史文化賞 優秀作品賞】

古建築を復元する 過去と現在の架け橋 海野 聡著……………四六判 1,800円 吉川弘文館  
 同上

## 【第38回 沖縄研究奨励賞】

沖縄返還後の日米安保 米軍基地をめぐる相克 野添文彬著…A5判 5,800円 吉川弘文館  
 「沖縄の振興施策への積極的な協力」に関連し、これを推進する事業として沖縄の地域振興に貢献する人材を発掘し、育成することを目指して、昭和54年7月に設置。奨励賞は、沖縄を対象とした優れた研究を行っている50歳以下の新進研究者(又はグループ)を受賞対象としている。

## 【第2回 日本防衛学会猪木正道賞】

沖縄返還後の日米安保 米軍基地をめぐる相克 野添文彬著…A5判 5,800円 吉川弘文館  
 わが国の防衛と安全保障並びに国際平和に関する分野において優れた業績をあげた個人(またはグループ)に対し、本分野における学術研究の振興並びに広く研究者の育成に寄与することを目的として、日本防衛学会猪木正道賞基金より送られる。

## 【鉄道友の会 島秀雄記念優秀著作賞】

海をわたる機関車 近代日本の鉄道発展とグローバル化 中村尚史著  
 ………………A5判 3,900円 吉川弘文館  
 毎年1回、鉄道分野に関する優れた著作物または著作物に関わる功績を選定し、鉄道および鉄道文化の発展に寄与することを目的として、2008年に新設された賞。

# 2017年歴史書懇話会研修旅行記

新潟県（長岡市・新潟市・佐渡市）

須藤 圭

（ミネルヴァ書房）

2017年の歴史書懇話会研修旅行は2泊3日の行程で新潟県を訪問。長岡市からスタートし、新潟市内を経て、最後に佐渡に渡る行程となった。

長岡駅に到着し、駅に直結したショッピングセンター CoCoLo 長岡に移動すると文信堂書店長岡店様が見えてくる。文庫・コミックがメインの店舗であるが、専門書も要点を押さえた品揃え。人文書のフェアでは、独自に関連本を加えて売上を伸ばしているとのこと。

ここからバス移動となり、まずは戸田書店長岡店様へ。郊外型の店舗でファミリー層が中心。歴史書は年配の方がメインとのことで充実した郷土関連書の品揃えが印象に残った。

昼食後訪問したのは、加茂市の番場堂書店様。新潟経営大学にも売店があるとのことで、大学の教科書についても意見交換させていただいた。学校教員や研究者からの注文が多いとのことで、会員社の書籍もしっかりと陳列していただいていた。

続いては新潟大学生協書籍部様。人文書担当者が交代になったばかりとのことだが、大ベテランである書籍部出

身の専務補佐による指導が行き届いた棚の前で、歴史書を含む人文書に関して幅広く意見交換した。

その後、知遊堂亀貝店様へ。グループ最大の売場面積を誇る店舗。人文書の棚に整然と歴史書がまとめられていた。新潟日報の書評の効果が絶大とのことで、掲載書目を逃さず展開しているとのこと。

戸田書店新潟南店様へと移動する。店長の積極的な目利きで各会員社の書籍がセレクトされているのが印象的であった。理工書、ビジネス書が良好とのこと。店内中央にある各ジャンルの新刊をまとめて陳列するコーナーは非常に見やすく、お客様目線の売場作りであった。

最後の訪問先は萬松堂様である。店売はバーゲンブック売場が拡大していた印象であったが、児童書関連の品揃えが良い。周囲には学校や官公庁も多く、外商活動が盛んな書店様である。時代にあった本を求めているとのことで、会員社として、その声に応えていく必要性を強く感じた。

夜は新潟市内のホテルにて、県内の書店様、販売会社様を交えての懇親会

が行われた。普段はライバル同士である書店様、流通を支える販売会社様、われわれ出版社が一堂に会し、歴史書・専門書をどのように売り伸ばしていくか等、垣根を超えた意見交換は熱を帯び、二次会以降も話は尽きることはなかった。

2日目最初にお伺いしたのは、ジュンク堂書店新潟店様。早い時間の訪問となったため、開店準備の中ご対応いただいた。県内最大1,600坪の売場面積と熱心な歴史書担当者の支えもあり、「意図を持って作っている棚」であることが伝わってくる。前日も懇親会で意見交換させていただいたが、その上で売場を拝見したことで、各会員社の熱を帯びた提案は止むことがなかった。

続いて紀伊国屋書店新潟店様へ。複合型ファッションビルのラブラ万代内にあり、メインのお客様はファミリー層とのこと。前面の文庫フェア、児童書、教育書等も充実していた。歴史書についてもポイントを押さえた品揃えで、古くからのお客様の支持も強い。

その後佐渡汽船新潟港に移動しフェリーで佐渡へ渡り、石川書店様を訪問する。歴史書は佐渡を中心に扱った郷土書が良く売れる一方、新潟県の中の佐渡や、他との繋がりの中の佐渡といった書籍はあまり売れないとのこと。

徒歩で丸屋書店様に移動する。やはり歴史書は佐渡に直接関係する書籍（例えば北一輝など）が売上の中心と

のこと。歴史書懇話会で作成した佐渡関連書籍のリストを活用いただければと願う。

次にバス移動で蔦屋書店佐渡佐和田店様へ。佐渡のメイン通り沿いの立地のため、お客様の入りも良好であった。実用書や雑誌がメインの店舗であったが、歴史書や郷土書などをきちんと展開する余地もあると感じられた。

最後の訪問先として阿仏房日得が自宅を寺として開基した妙宣寺を見学。関日道貫首に妙宣寺の歴史についてご教示いただき、五重塔や重要文化財も保管されている宝物殿も見学させていただく。眼福にあずかり、当時の佐渡に思いを馳せながら2日目の宿へ。

最終日は佐渡市内で研修を兼ねて文化施設を訪問。佐渡は初めてという参加者がほとんどで、見るもの全て新鮮に映る体験となった。史跡佐渡金山から産業遺跡（北沢地区）・京町通り見学、昼食を兼ねて陶芸館を併設する椿茶屋にて登り窯も見学させていただいた。

史跡佐渡金山では、テレビ出演でも有名になったガイドの方に同行していただき、「宗太夫坑」を案内していただき。江戸初期に開発された手掘り坑道での採掘作業が忠実に再現されている。先人の苦労を疑似体験し、修学旅行の子どもたちも真似をするという構内の休憩所「馴染みの女」等を見学した。

大立堅坑槽の内部を見学した後、相川金銀山と奉行所を結ぶ京町通り見学となった。古民家カフェや町のシンボ

ル「時鐘楼」そして佐渡奉行所跡と当時の隆盛を伺い知る貴重な体験であった。その後、昼食と竊元見学を経て両津港へ戻った。

今回訪問させていただいた書店様には、お忙しい中ご対応いただき、幅広く意見交換や提案をさせていただいた。

電話やメールのやり取りだけでは感じられない書店様の生の声を伺い、各社とも今後の出版活動に活かすヒントを得る貴重な機会となった。ご対応いただいた書店様、ご同行いただいた販売会社様にこの場を借りて御礼申し上げます。

## 歴史書以外の 人文社会図書新刊案内

2017.11・12

### 明石書店

北京スケッチ 素顔の中国人 渡辺陽介著……………四六判 1,700円 11月

### 塙書房

萬葉集研究 第37集 芳賀紀雄監修／鉄野昌弘・奥村和美編……………A5判 13,000円 11月

◆早いもので、年の瀬まで20日余りになります。

今年も私たち歴史書懇話会は月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを開催してまいりました。書店様に少し入れ替わりがありました。現在は次の6書店で開催しています（かつこ内はフェア開始の日付）。◇天童市TENDO八文字屋（2006年7月～）／◇新潟紀伊國屋書店新潟店（2007年8月～）◇松江市今井書店グループセンター店（2008年6月～）／◇大阪市喜久屋書店阿倍野店（2013年11月～）／◇出雲市今井書店出雲店（2014年7月～）／◇名古屋市ジュンク堂書店名古屋ロフト店（2015年6月～）。このミニフェアを、毎月開催して下さった6書店の皆さま、1年間ありがとうございました。来年もよろしくお願ひ致します。

◆歴懇では毎月のオススメに加えて、折々のテーマでミニフェアもご案内しております。来年1月開始大河ドラマに合わせたオススメ号外【2018年大河ドラマ『西郷どん』と幕末・維新の日本特集】を、よろしくお願ひ致します！

.....

■今年は『資本論』刊行150年、ロシア「10月社会主義革命」100年、『日本国憲法』発効70年の節目の年でした。ロシア革命で誕生したソ連邦は、スターリンによって社会帝国主義に変質・崩壊しましたので、革命は色あせて見えます。フランス革命も同じ運命を辿りましたが、革命で掲げられた「人権宣言」は「立憲主義」の基礎として今も輝いていますし、ロシア革命で掲げられた「民族自決」も21世紀に至るまで人類史的価値は失っていません。◆さて、『日本国憲法』はアメリカによる押し付け憲法であるから早く改訂したいと、安倍政権は憲法9条に第3条を設けて自衛隊は軍隊であると書き込み、2020年に施行すると言っています。けれど、今年の世論調査で日本国憲法があつてよかったという意見が、初めて80%を超えて89%になりました。秋の総選挙では改憲派が議席の80%を占めました。◆敗戦の翌年1月、幣原喜重郎首相はマッカーサーを訪問、「いわゆる『戦争放棄』条項を含め、その条項では同時に日本は軍事機構は一切持たないことを決めたい、と提案した」。マッカーサーは賛成します（マッカーサーの『大戦回顧録』）。そして制憲議会では様々な修正が行われ、国民の代表によって憲法は制定されました。◆ここまでは今年92歳の武藤徹先生（都立戸山高校教師、NHK教育TV数学講座初代講師他）から私の姉が頂いた手紙を元に書きました。武藤先生は今、進行中の「改憲阻止3000万統一署名」を呼びかけています。■12月10日には、オスロで国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」（ICAN）の事務局長と共に登壇したカナダ在住サーロー・節子さんが、広島での被爆体験を演説「これを核兵器の終わりの始まりにしようではありませんか」と世界に向けて訴えました。ICANのノーベル平和賞受賞を喜びながら、これからどのように核兵器を廃絶できるか、日本国憲法を守る運動と共に、一歩ずつを進めていきたいと思ひます。

どうか皆さまよいお年をお迎えください。（FN）

# ナショナル・アイデンティティを問い直す

川田順造編 国家単位では敵味方の境界が定かでない戦争と殺戮・破壊が激しさを増す今日、人類史の視野で「ナショナル・アイデンティティ」とは何かを考える。古くて新しい問題群に挑む多文化間比較の試み。

A5判 416頁 本体4500円



# グローバル・ヒストリーの可能性

羽田 正編

A5判 336頁 本体3000円

国際的グローバル・ヒストリー教育研究ネットワークの成果をもとに、アメリカ・ドイツ・フランス・日本におけるグローバル・ヒストリー研究の過程と、新しい歴史研究の方法を紹介する。

# 品川弥二郎関係文書 第8巻

尚友倶楽部品川弥二郎関係文書編集委員会編

明治期の官僚政治家である品川弥二郎宛ての書簡を、差出人別・年代順に編集・翻刻する。第8巻は山県有朋(1888通)・山田顕義・渡辺千秋らの来簡および補遺を含め約550通を収載。

A5判 584頁十口絵8頁 本体7000円

# 都市史研究 ④

2017

都市史学会編

都市史学会の会誌第4号。論文のほか、研究ノート・小特集「社会的結合と都市空間」・書評などを収録。B5判 176頁 本体3800円

# 世界歴史大系

李成市・宮嶋博史・糟谷憲一編

# 朝鮮史 1 朝鮮史 2

先史▼朝鮮王朝

A5判 644頁 本体7500円

近現代

A5判 480頁 本体6500円

朝鮮半島の現在と未来を知るために編まれた、最も信頼できる詳細な通史。最新の実証研究に基づき、政治史を軸に社会・経済・文化をバランスよく叙述する。豊富な付録も便利。

# ノーベル賞 117年の記録

ノーベル賞の記録編集委員会編  
ノーベルの理念、選考機関、選考方法、各賞の紹介、年ごとに受賞者と受賞内容を記載し、受賞時の時代背景が「この年の出来事」でわかる。

B5判 168頁 本体1600円

# 幕末維新の日本

高橋則英監修 菊5判 208頁 本体1600円

シリーズ第17弾。明治維新から150周年を記念して、幕末明治の日本の風景・文化・人物を古写真で紹介する。

# 歴代オリンピックの歴史

「歴代オリンピックでたどる世界の歴史」編集委員会編  
オリンピックの歴史をたどると、世界の歴史が見えてくる。各大会の概要とその時の国際情勢を、多数の図版、写真とともに解説する。

B5判 136頁 本体1500円

山川出版社

東京都千代田区内神田 1-13-13

[価格は税別]

電話 03-3293-8131 <https://www.yamakawa.co.jp/>

SNS・テレビ・新聞から、映画・雑誌・ラジオまで。メディアは何を伝え、人びとを動かしてきたのか？

# 日本メディア史年表

土屋礼子編 編集協力：井川充雄、里見脩、谷川建司、難波功士、山腰修三、吉田昭昭

6500円「内容案内」送呈  
メディアの発達と普及とともに、社会は大きく変容した。一八三七年の電信機発明から現代まで、マスコミ関連会社の発足やメディアをめぐる事件、技術革新、映画・文学作品を年表で掲載。メディアと社会の関係がわかる。



## 古代国家の土地計画 条里プランを

金田章裕著 2800円

方格状の都市計画と「条里」と呼ばれる農地管理の特徴とする古代の土地制度。一町四方の地割と位置を示す条里呼称を合わせた「条里プラン」の成立と展開・改変過程を探り、壮大な古代の土地プランの実態に迫る。

## 甲信越の名城を歩く 長野編

中澤克昭・河西克造編 2500円

真田・小笠原ら、群雄が割拠した往時を偲ばせる土塁や曲輪などが訪れる者を魅了する。長野県から精選した名城五九を、北信・東信・中信・南信に分けて発掘成果もふまえて、豊富な図版を交えて紹介。(既刊)新潟編・山梨編

## みる・よむ・あるく 東京の歴史 通史編⑥

池 享・櫻井良樹・陣内秀信・西木浩一・吉田伸之編 2800円

明治維新により江戸は「東京」と名前を変え、首都となった。いかに東京は形成され、そこでは暮らしたのか。都市化の進展、震災と戦災、戦後復興から今日の国際化まで、激動の近現代史に迫る。

## 戦争とトラウマ 不可視化された

アジア・太平洋戦争期に軍部の注目を集めた戦争神経症は、なぜ戦後長らく忘却されてきたのか。さまざまな医療アーカイブズや医師への聞き取りから忘却されたトラウマを浮かび上げ、現代的課題の視座も示す。

中村江里著 4600円

古より使われてきたサインとはんこ……これから古文書を学びたい人、さらに学びを広げたい人に

# 花押・印章図典

3300円  
「内容案内」送呈

日本史上の人物が使用した花押約二〇〇〇と印章約四〇〇〇を収録し、各人物の基本情報(武家・公家等の別、生没年、別名、主な官職名、法名)も掲載。用語解説や参考文献、没年順索引を取め、古文書を学ぶ上で座右必備の書。

## 秘録 維新七十年図鑑 新装版

現在失われた古文書や実物資料を豊富に掲載した稀覯本。10000円 大阪毎日新聞社編

## 458 渤海国とは何か

古史でも、現代史でもある。歴史の争奪を乗り越えるために。 古畑 徹著 1700円

## 459 幕末の海軍 明治維新への航跡

海軍からみた明治維新のメカニズム。太平から覚醒した武士たち。 神谷大介著 1800円

## 戦争と放送

戦時期の情報操作に果たしたラジオ放送。その役割を解き明かす。 竹山昭子著 2400円

弥生時代国家形成史論(弥生時代) 寺沢 薫著 35000円

古代国家の地方支配と東北 今泉隆雄著 9000円

日本古代の政治と仏教 藤原 正史著 11000円

室町期顕密寺院の研究 西尾知己著 11000円

中世武家服飾変遷史 山岸裕美子著 9000円

日本中世社会と禅林文芸 芳澤 元著 8500円

武士人格化の研究(全2冊) 分売不可 高野信治著 16000円

## 吉川弘文館



## 歴史手帳 2018年版

日記と歴史百科が一冊となった、便利な手帳。 950円

(価格は税別)

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-8 / 電話 03-3813-9151 代表

# 歴史書懇話会

## ▶ 会員社名簿 ◀

- 明石書店 101-0021 千代田区外神田 6-9-5 〈担当者：深谷直樹〉  
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1174
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田 1-1-3 〈担当者：石田 亘〉  
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入元町 355 〈体会〉  
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町 1-17 〈担当者：鈴木 淳〉  
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田 2-4-1 〈担当者：中村文江〉  
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋 4-4-8 〈担当者：榎 祐典〉  
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷 6-8-16 〈担当者：関口守俊〉  
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 〈担当者：西村明高〉  
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 [本 社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町 1  
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589  
[東京支社] 101-0052 千代田区神田小川町 2-4-17 大宮第 1 ビル 6F  
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620 〈担当者：須藤 圭〉
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田 1-13-13 〈担当者：菊池敏彦〉  
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷 7-2-8 〈担当者：春山晃宏〉  
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2018年1月1日発行・第235号

発行 **歴史書懇話会**

113-0033 文京区本郷 7-2-8 吉川弘文館内  
(非売品)

取扱店